

第21回 厚生科学審議会生活衛生適正化分科会	
平成25年11月7日	資料3

小池委員提出資料

クリーニング業の現状と課題

論点ポイント

I. 利用者等への「安全・安心」対策

- 「お客様(品物)」「従業員」「近隣住民」「地球環境」の4つの観点からの必要な安全・安心対策の向上・推進
 - 「お客様(品物)」……クリーニング事故防止、説明責任、賠償保険等
 - 「従業員」……職場環境改善、福利厚生、労災事故防止等
 - 「近隣住民」……公衆衛生、公害(騒音・振動・臭気等)防止、火災予防、防災・防犯活動、地域弱者支援等
 - 「地球環境」……環境保全対策、地球温暖化防止、省資源化・省エネ推進等
- 洗濯絵表示のJ I S改正(I S Oとの統合)に伴う利用者利益の擁護対策の推進

II. 営業者の振興に係る対策

- 別掲「弱み」「脅威」の排除、軽減化策の推進
- 利便性ばかりが強調される新業態(家事代行、非対面型等) ⇒ クリーニング業の定義の明確化
- 学校教育の欠如、テレビ等での誤認知識等 ⇒ 正しいクリーニング知識の普及促進の強化

III. 業界の活性化に係る対策

- 先細りへの歯止め ⇒ 事業承継者並びに新規事業参入者確保、拡大に向けた取り組みの推進
- 価格ばかりが重視される風潮 ⇒ 《衛生》の重要性の再認識 ⇒ 適正価格への改善
- 外的要因による経営基盤の脆弱化 ⇒ 生活衛生同業組合組織の再構築 ⇒ 大同団結の実現

クリーニング事業者の経営に係るSWOT分析

強み <ul style="list-style-type: none">○訪問営業が出来る○地域コミュニティの中心的存在○家庭ではできない高い技術力(仕上げ、シミ抜き等)○家族従業員中心のため労働時間の調整がしやすい	弱み <ul style="list-style-type: none">○経営者の高齢化と後継者不在、事業承継の立ち遅れ○脆弱な経営基盤と売上げの大幅減少○売り上げ激減に伴う設備投資等の困難化、老朽化○過当競争に伴う低価格化の進展○利用者ニーズの変化への適合化の立ち遅れ○新規参入事業者の激減(業界全体の先細り化)
機会 <ul style="list-style-type: none">○高齢者世帯、買い物難民等、地域弱者への支援が可能○共稼ぎ世帯の増加等、家事代行サービスへのニーズの増加○新感染症への対応等、公衆衛生確保に対する社会的要請○エコ意識の高まりの中での「もったいない」感覚の向上○保管サービス、リフォーム等潜在ニーズの顕在化○機械類の共同利用に向けた意識の芽生え	脅威 <ul style="list-style-type: none">○原油価格の高騰によるコスト上昇、関連資材等の入手困難化○衣類のカジュアル化(クールビズ等)、家庭洗濯へのシフト等○利用者のクリーニング知識の低下(学校教育)○就労人口の減少、高齢者世帯の増加○利用者のクリーニング離れの加速化○洗濯絵表示改正(ISO)に伴う混乱○流通、運輸等異業種の相次ぐ業界進出○各種環境規制の強化○建築基準法第48条への適合化

全ク連の振興事業

クリーニングギフト券

クリーニングギフト券は全国約30,000店の組合加盟店でご利用いただける便利な全国共通のギフト券です。

クリーニングギフト券特徴

- ・クリーニングギフト券は1枚500円で購入できます。
- ・1枚につき500円分のクリーニングができます。
- ・必要なだけ無駄なくご利用になれます。



制度の概況

発行元：全国クリーニング生活衛生同業組合連合会

発行額面：500円（1種類）

法律：資金決済に関する法律

所管：財務省

クリーンライフビジョン21(展示会)



昭和29年の第1回からはじまり、今年で第51回を迎えるクリーンライフビジョン21は環境保全やコンプライアンスなど、クリーニング業が対応すべき課題に正面から取り組み、出展各社が提案する最新のクリーニング機械、資材等を明るく照らしうるソリューションを発信する展示会です。



平成25年度開催概要

名称：クリーンライフビジョン 21 2013大阪国際クリーニング総合展示会

テーマ：今日のクリーニングにできること。明日のクリーニングとできること。

会期：平成25年11月15日（金）～17日（日）3日間

主催：全国クリーニング生活衛生同業組合連合会

後援：厚生労働省、経済産業省、環境省、大阪府、大阪市、大阪商工会議所

クリーンライフ協会の取り組み

クリーンライフとは

国民に快適な生活「健康・美しさ・楽しさ」を提供する業界を目指し、その3要素の交わる生活こそがクリーンライフ（衛生思想）と定めています。

クリーンライフ協会とは

クリーンライフ協会は、国民の「健康で、美しく、楽しい」生活実現に向けて、クリーニング業界が積極的に貢献して行っているという「クリーンライフ思想」に賛同した、クリーニング業者並びに関連業界の団体・企業によって構成されております。

クリーニングの日キャンペーン ～9月29日はクリーニングの日～



9月29日はクリーニングの日です。「929=クリーニング」の語呂合わせですが、昭和57年に制定されて以来定着しており、例年この時期になると様々なマスコミに「クリーニングの日」が取り上げられています。

9月の日曜日には全国クリーニング生活衛生同業組合連合会とク

リーンライフ協会が共催で「クリーンライフまつり」を東京・池袋のサンシャインシティで開催しています。文化放送、日本バルーン協会等とタイアップし、クリーンライフ思想（健康・楽しさ・美しさ）の普及啓発、および9月29日が「クリーニングの日」であることを通じてクリーニング業界のイメージアップや利用者への啓発活動および需要拡大を図るほか、ボランティア活動を行い「クリーンライフ みのりの箱募金」の呼びかけ等を行っています。

クリーンライフみのりの箱募金



クリーンライフみのりの箱募金は、株式会社文化放送が昭和52年より実施していた「みのりの箱募金」の活動に、全国クリーニング生活衛生同業

組合連合会並びに関東一都六県の組合（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）がタイアップして、昭和60年からスタートした厚生労働大臣認可の募金活動です。平成22年には25年の節目を迎え、これまでに約1億5,500

万円の浄財が寄せられており、この募金活動に対し厚生労働大臣感謝状が贈られています。

募金された浄財は、厚生労働大臣に手渡され、社会福祉法人中央共同募金会を通じて関東一都六県の社会福祉施設に配分されており、各施設で有効に活用されています。